

## 平成21年度構成機関について

- 平成21年4月開学の日本赤十字秋田看護大学（学長予定者 森 美智子 日本赤十字秋田短期大学学長）から大学コンソーシアムあきたへ加盟する旨の意向が示されています。
- 平成21年度から構成機関として大学コンソーシアムあきた事業に参加することを前提とした予算案を作成します。

## 平成21年度大学コンソーシアムあきた構成(予定)機関一覧

(単位：円)

No.	構成(予定)機関名	平成20年度負担金額	平成21年度負担金額
1	秋田大学	300,000	300,000
2	秋田県立大学	300,000	300,000
3	国際教養大学	300,000	300,000
4	ノースアジア大学	300,000	300,000
5	秋田看護福祉大学	300,000	300,000
6	日本赤十字秋田看護大学		300,000
7	秋田公立美術工芸短期大学	100,000	100,000
8	秋田栄養短期大学	100,000	100,000
9	聖霊女子短期大学	100,000	100,000
10	日本赤十字秋田短期大学	100,000	100,000
11	聖園学園短期大学	100,000	100,000
12	秋田工業高等専門学校	100,000	100,000
13	放送大学秋田学習センター	100,000	100,000
14	秋田職業能力開発短期大学校	100,000	100,000
	計	2,300,000	2,600,000

## 平成21年度事業計画案・予算案の主な変更点等について

## ■ 収入

- ① 日赤秋田看護大学の新規加入意向を基に、負担金収入純増30万円を見込む。
- ② 聴講料収入は秋田戦略学など1単位授業の開講に合わせたコマ数の見直しによるもの。@400×15コマ×5人 → @400×7コマ×5人
- ③ 繰越金については負担金や補助金が収入されていない年度始め期間における運営資金として約30万円を目処に執行してきた。昨年度はこれに加え、前期高大連携授業の募集時期を約1ヶ月繰り下げたことにより、募集資料の印刷発注時期が3月から翌年度となり、当該予算30万円を繰り越したため合計で約60万円の繰り越し金が生じたもの。

今年度の執行にあたっては繰越額を目処を約30万円としていたが、モバイルシステムの構築に伴うHP制作費27万円を新規に執行したため、8.2万円の繰越額となる見込み。

## ■ 支出

- ④ 事業体系は前年度とほぼ同じ。戦略的大学連携支援事業「プロジェクト4A」の事業展開に協力し、大学コンソーシアムあきた事業も積極的に展開する。
- ⑤ プロジェクト4Aが教育・研究支援の事業展開方向であることから、大学コンソーシアムあきた事業は、大学間連携による県民向け地域貢献活動に、より傾注した方向で展開し、大学発の優れた教育サービスを提供するとともに県民の大学理解を深めてもらうことをねらいとする。  
一方では、プロジェクト4Aによる単位取得予約型高大連携授業などと共に高大連携授業や中大連携授業など中等教育の支援への事業展開を図る。
- ⑥ 単位互換授業及び高大連携授業に係る謝金の廃止。プロジェクト4Aによる「単位取得予約型授業・単位互換授業の謝金を受け取らないことへの合意」によるもの。なお、高大連携授業等においては秋田市以外の授業会場へ講師が移動した場合、JR運賃を支出する。
- ⑦ 高大連携謝金の廃止を主な財源としてより一層の中等教育への支援を掲げ、中大連携授業による企画講座を定期的を開催することなどにより、科学技術系分野に興味関心の高い生徒の継続的受講をねらい、理系分野への進学動機付けを図る。
- ⑧ 職員研修事業においては、大学教職員に限らず、学生や一般県民にも広く学びの機会を提供し、大学コンソーシアムあきたの発信性を高めるため、著名な県外大学教員等による講演会を企画実施する。